

令和2年度 第2回練馬区在宅療養推進協議会 在宅療養専門部会 会議概要

1 日時	令和2年11月4日(水) 午後7時～午後8時30分
2 場所	オンライン会議 (Zoom)
3 出席者	<p><委員> 出席者：佐古田委員(部会長)、寺本委員、山川委員、田中委員、會田委員、奥出委員、栗原委員、鈴木(さ)委員、菅原委員、山口委員、永沼委員、金子委員、大城委員、馬籠委員、鈴木(健)委員、菊地委員、中島(加)委員、高橋委員(地域医療課長)、中島(祐)委員(医療環境整備課長)、屋澤委員(高齢者支援課長)、風間委員(介護保険課長)</p> <p><事務局> 地域医療課</p>
4 公開の可否	オンライン会議のため公開なし
5 傍聴者	オンライン開催のため傍聴者なし
6 次第	<p>1 報告 (1) 令和2年度在宅療養推進事業の進捗について</p> <p>2 議題 (1) 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に向けて</p> <p>3 意見交換 テーマ「コロナ禍における多職種連携について」</p> <p>4 その他</p>
7 資料	<p>次第</p> <p>資料1-1 令和2年度在宅療養推進事業の進捗について(発行物)</p> <p>資料1-2 令和2年度在宅療養推進事業の進捗について(企画)</p> <p>資料2-1 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画答申</p> <p>資料2-2 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画答申概要</p> <p>参考1 第1回在宅療養専門部会議事録</p> <p>参考2 練馬区在宅療養推進事業(令和元年度～令和2年度)</p>
	<p>練馬区 地域医療担当部 地域医療課 医療連携担当係</p> <p>電話 03-5984-4673</p>

会議概要

1－(1) 令和2年度在宅療養推進事業の進捗について

【資料1－1】および【資料1－2】の説明（事務局）

（部会長）

ありがとうございました。質問やご意見はありますか。

（委員）

「入退院連携ガイドライン」は、ケアマネージャーに好評です。練馬区民は板橋区や中野区など他の区で入院することもございますので、そういった他の区にもガイドブックについてお知らせしており、好評いただいております。

（部会長）

他の区にも広めると良いのかもしれませんが。

（委員）

「わが家で生きる」のパンフレットは非常に評判が良いので、クリニックの待ち時間に見られるよう、スライドショーで流すことは可能でしょうか。

（事務局）

映像化に関しては出張講座のようなものを映像化することを検討しております。

（部会長）

こういう冊子があるということに興味を持ってもらうことは良いことです。簡単な内容のスライドでも構いませんので、検討してみてください。

資料1－2に関して、ZOOMでの参加は実感としていかがでしたか。

（委員）

第1回の配信トラブルがあった際に参加しましたが、トラブル後の対応が重要です。とはいえ、会場よりもZOOMのほうが話し合いに集中でき、グループ討議が盛り上がったような印象がありました。新たな参加の選択肢ができたと思います。

（部会長）

ZOOMの活用についてはコロナの収束に関わらず、手段として試行錯誤してやっていきたいと思います。

1－(2) 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に向けて

【資料2－1】および【資料2－2】の説明（事務局）

（部会長）

この件に関して、ご質問等があればお願いいたします。特に今の段階ではございませんでしょうか。この件に関して何かあれば、11月11日までに事務局までご連絡ください。

2 - (1) 意見交換 「コロナ禍における多職種連携」

【参考2】の説明（事務局）

（部会長）

コロナ禍における多職種連携に関して、現状の報告でも構いませんので、ご意見を願いたいと思います。退院前カンファレンスでは人数を減らしているとの声も聞きますが、その後の情報共有はどのように行っていますか。

（委員）

当院では、人数を制限して最小限で退院前カンファレンスを実施しています。カンファレンスを実施するまでは電話で家族からケアマネに患者様の状況を伝えていただきます。カンファレンスは病院に集まっていたり、リモートで対応したりしています。極力カンファレンスを実施したいとは考えていますが、このような状況下ですので、回数を抑えて実施しているのが現状です。

（部会長）

人数を絞りながら、オンラインも活用しているとのこととお聞きしました。

（委員）

基本的には面会禁止になっており、退院前カンファレンスはあまり実施していません。ケアマネジャーには電話連絡をして、どうしてもという場合のみリハビリ見学などを短時間で受け入れています。

（部会長）

そういった状況で、実情で問題は起きていませんか。

（委員）

高齢の入院患者が多いので、状況変化によってこれまでなかった認知症の症状が出現することはあります。そういった面では密に連絡を取る必要性を感じています。

（部会長）

その他、退院前カンファレンスについてご意見はありますか。

（委員）

病院での退院前カンファレンスや退院前の自宅訪問が減っています。書面や電話で聞いていた本人の情報と、実際に自宅に帰られてからの本人の様子に相違があると感じることも多いです。そのため、退院後の準備として事前に考えていたことと、実情が合わないことがあります。また、相談員を通して本人の希望を聴取していますが、実際にご本人とお話してみると、「そのようなことは言っていない」とおっしゃるなど、事前に検討していたケアプランが大幅に変更になることが多いです。さらに、面会制限で家族と会えないため、認知症や意欲の減退が強く進み、入退院支援が難しいと感じています。

（部会長）

コロナ禍では今まで見られなかった問題を感じていらっしゃるのご意見でした。オンラインであっても顔の見える関係は重要だと感じています。オンラインシステムの活用について、今年になって変わったことはございますか。

(委員)

在宅医療は多職種で関わっていますが、発熱を認める場合はPCR検査を早め実施して、診断をつけることに力を入れて取り組んでおります。唾液の検体検査もごさいますが、寝たきりの方だと唾液が十分に取れないことも多くあります。福祉保健局とも協力をして、当院では咽頭ぬぐいでの検体検査も実施しておりますので、熱発等でコロナ感染の疑いがある場合は、お声掛けいただければと思います。多職種で介入していると、どうしても安全を確保した上でないと診療・介護サービスに入れません。在宅でも検査ができるため、感染の疑いがあれば積極的に検査を受けていただきたいと思います。これからも、MCS等を活用しながらより密に情報共有していきたいと考えております。

(部会長)

咽頭からの検体検査が在宅でもできるということで、そういった体制をとっていただいているということは非常に安心に繋がると考えております。

(委員)

こういった状況ですと、ICTの有効活用が重要だと感じています。今後もこのようなシステムが使いやすくなることを望んでいます。

(部会長)

MCS等のシステムは使えば使うほど便利になる面もごさいますので、MCSの更なる普及を進めていきたいと思っています。他に、介護サービスの利用控えについての声も聞こえていますが、どのような対応をされていますでしょうか。

(委員)

4～6月に関しては、デイサービスと訪問リハビリを本人・家族が嫌がる傾向がございました。ケアマネージャーから事業所の感染対策や、活動量低下のリスクを説明しており、現在では7～8割の利用率に戻っています。ショートステイでは、日頃の検温が必要だったり、微熱があると受け入れてもらえなかったりといった状況です。また、退院後1週間はデイサービスの利用を断られるケースもあり、訪問系のサービスでそういった通いの場に行けない部分を補っております。

(部会長)

介護サービスの利用控えが続くと、新たな問題が顕在化してくるでしょうから、連携によって対応していく必要があると思います。その他、ご意見ありますか。

(委員)

病院では面会を禁止していますが、患者様の希望によってWeb面会も実施しています。家から携帯電話で繋いだり、病院入口の別室でオンライン面会したりすることもごさいます。入退院支援に関しては、これまで通り全員で集まることはできないので、早めにMSWとケアマネージャーが連携をとることがより重要だと感じています。皆様のご協力もあり、病棟の稼働はコロナ前の状況にだいぶ近づいています。練馬区は連携の下地があると感じていますので、これからも協力していけると感じています。

(部会長)

これまで積み上げてきた関係性によって、非常事態も対応できているのかと思います。

受診控えもありますから、それに対しての対応も必要になってくるのでしょうか。

(委員)

歯科においても、受診抑制によって必要な治療がされていないと感じております。少し前は訪問歯科を断られることも多かったですが、少しずつ戻ってきている印象を持っております。感染対策は歯科としてもしっかりと行っておりますので、これからも医療介護と協力して必要な介入ができるようにしていきたいと思っております。

(部会長)

これからもよろしく申し上げます。リハビリに関してはどうでしょうか。

(委員)

在宅リハビリに関しては、当初、デイサービスや訪問リハビリの抑制があり、動作能力の低下をあらさまに感じました。1～2カ月でも相当活動低下し、身体能力が低下することも分かりましたので、ケアマネージャーと連携して、早期にサービスの利用を再開する、他のサービスに切り替えるなどの対応を行いました。リハビリはリモートでできないため、職員への教育を行い、職員が仮に感染していたとしても利用者の方に感染させないような対策を徹底しております。

(部会長)

地域包括はいかがでしょうか。

(委員)

利用者の自宅に訪問するとマスクをしていない場合や、感染対策への意識が低い方も多く、その都度説明しております。ケアカフェの場がなくなり、コロナとどう向き合うか検討しております。

(部会長)

これまでやってきた通いの場がなくなっていますので、介護予防に関しても考えないといけないと思っております。

(委員)

これまで病院、サービスを定期的に利用していなかった地域の方の身体能力の低下や栄養状態の低下は気になっております。また先日、認知症サポーター養成講座を高校で実施しましたが、非常に興味を持ってもらえたので多くの学校でも取り組んで頂けたらと思います。介護なんでも相談に関しては、1件あたり1時間程度かかっており、コロナ禍のストレスの影響を感じています。電話回線の拡大を検討していただければと思います。高齢者にとっては相談の手段として電話がまだまだメジャーなので、その辺りも考慮していただければと思います。

(部会長)

ご意見ありがとうございます。検討していきたいと思っております。

(委員)

施設も面会禁止になっており、介護指導ができないという難点は感じております。ただ、利用者の動画を家族や介護サービスの事業者と共有するなどの工夫もしております。

(部会長)

そのような活用できる取り組みは、他にも展開していきたいと思います。

(委員)

ケアマネージャーが感じている新型コロナに付随する課題を、各団体に投げかけ、専門部会の委員の皆様からも対応方法についての的確な対応・意見をいただきました。非常事態だからこそ、臨時の専門部会、意見交換会を開催しても良かったのではないかと感じておりました。

(部会長)

定期的な開催だけでなく、普段の業務の中でお気づきの点がございましたら、今後も事務局へご連絡いただきたいと思います。

(委員)

医師会では、在宅医療サポートセンターを来年の開設に向けて準備を進めております。今後は病院との連携だけでなく、幅広い問題に対応できるサポートセンターにしたいと思っておりますので、お気づきの点のご意見をいただきたいと思います。かかりつけ医が見つからない等の相談にも対応していく所存ですので、よろしく願いいたします。

(部会長)

来年度設置される在宅医療サポートセンターは現在準備を進めておりますので、医師会や事務局へご連絡いただければと思います。

(委員)

当院では、基本的に面会禁止の状態が続いており、時間外窓口で家族が洗濯物の受け渡しをしたり、介護認定調査員の来院を断ったりしている状況でございます。介護指導が家族にできず、十分な対応ができていない状況があり、地域の方にご迷惑をかけてしまっているのではと危惧しております。また、入院していると面会できないとのことで、がん末期の方や状態が悪い方が看取りを在宅で希望することが増えており、急な退院調整をお願いすることが増えております。病状説明は医師が電話でしていますが、ADLの情報が抜けていることも多く、ケアマネージャーやご家族から「こんな状態だとは思わなかった」などの意見をいただいておりますので、退院支援に抜けがないように今後も対応していきたいと思っております。

(部会長)

急な退院に関する連携の難しさも感じていらっしゃるということでした。他に何かございますか。

(委員)

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画答申の概要についてですが、大泉エリアでは後期高齢者も多く、地域によってニーズの違いがあると感じています。薬剤師会では会員薬局を地域ごとに再編成をし、大泉エリアでは顔合わせ会の実施を予定しております。医療・介護に定期的に繋がっていない方の相談事を、拾っていく薬局を目指して取り組みを始めております。

(部会長)

新たな挑戦について、またご報告いただければと思います。

(委員)

行政の立場としましては、専門職の方が仕事をしやすいように、活用できるものを情報共有したり、各団体の繋ぎ役を担ったりしていきたいと思います。また、MSW とケアマネージャーの連携は特に重要だと考えております。今回、入退院支援ガイドラインを作成しましたが、作成だけで終わらず、活用していけるように研修の開催等も進めていきたいと思います。安心して在宅療養を送れる練馬区を目指して、在宅療養推進事業を進めていきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

(部会長)

皆様から貴重な意見をいただきました。それではこれにて意見交換会は終了と致します。ありがとうございました。

3 その他

【次回日程の報告】

日時 令和3年1月29日（金）19時

開催方法は検討中

以上